

## 中之島地区の社会学共創の拠点、アートエリア B1

京阪電車中之島線建設中の平成18年から、企業・大学・NPO 法人が協同で、都市空間における駅の可能性を模索する「中之島コミュニケーションカフェ」を実施しました。これを継承して平成20年10月の中之島線開業を機に、なにわ橋駅の地下1階コンコースに「アートエリア B1」を開設しました。

ここでは「文化・芸術・知の創造と交流の場」となることを目指して、「サーチプロジェクト(アートや知の可能性を探求(=search)する企画展)」、「鉄道芸術祭(鉄道を多彩な文脈で捉える企画展)」、「ラボカフェ(レクチャー&対話プログラム)」、「ブリッジシアター(ダンスパフォーマンス)」など、大学の知、アートの知、地域の活力を集結した多彩な主催事業を展開しています。

これらの取組みは、平成28年4月に、大阪大学と京阪ホールディングス株式会社は、社会学連携協力に関する協定締結に発展しました。本学にとって、「社会学連携協力」に特化した協定を、企業の方とそれぞれの組織のトップ同士で締結することは、この協定がはじめてのことになります。

「地域に生き 世界に伸びる」大阪大学が、発祥の地である中之島に、社会学連携を核として根を張って一層活動すること、「人の暮らしに夢と希望と信頼のネットワークを築いて、快適な生活環境を創造し、社会に貢献する」ことを理念としている京阪ホールディングスの両者が共創する施設に発展しています。

